

様式第2号（第3条関係）

平成31年1月28日

篠山市議会議長 様

会派名 公明党  
代表者名 隅田 雅春  
又は会派無所属議員の氏名



政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活動の種類： 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動  
その他（ ）
2. 活動期間： 平成31年1月24日（木）・25日（金）
3. 場所： (1) 富山型デイサービスについて  
(2) 富山市居住推進事業について
4. 活動者： 隅田 雅春、園田 依子
5. 活動の概要： 別紙
6. 考察： 別紙
7. 活動に要した費用：

費目	詳細	金額	備考
調査旅費	旅費	37,160	電車代
〃	旅費	19,800	ホテル代
〃	土産代	6,480	富山市、このゆびとまれ

## 行政視察報告書

報告者 会派 公明党  
隅田 雅春  
園田 依子

【実施日】 平成31年 1月24日（木）・25日（金）

### 【視察内容】

- (1) 「富山型デイサービス」について  
富山県富山市福祉保健部障害福祉課  
NPO法人 「このゆびと一まれ」
- (2) コンパクトシティーと公共交通を活用した居住推進事業  
富山県富山市活力都市創造部居住対策課

#### 1. 「富山型デイサービス」について

##### (1) はじめに

・H5年に富士赤十字病院を退職した3人の看護師さんでデイケアハウス「このゆびと一まれ」を開所された。

共生型のデイサービスとして、赤ちゃんからお年寄りまで、障害があるなしにかかわらず受け入れ、子供と一緒に笑い、怒ったり、歌ったり子供がいればどんなりハビリよりもよいという取り組みが、他にはないことから「富山型」といわれるようになった。

##### (2) 特徴

富山型デイサービスのキーワードは小規模・共生・地域密着で、一般住宅をベースに利用定員15人程度で家庭的な雰囲気、高齢者、障がい者（児）、乳幼児など利用者を限定せず誰でも受け入れて対応され、住宅地の中で自治会に入り地域と交流もされている。

##### (3) 経過（行政との連携の始まり）

- H5年 開所当初は行政からの支援はなかった。利用者の自己負担：1日2,500円  
H8年 障がい児デイケア事業を開始  
H9年 デイサービス事業（高齢者）1日5人以上の受け入れをし、年間180万の補助金  
H10年 デイサービス拡充（高齢者・障がい者）  
1日5人以上受け入れ180万円、10人以上受け入れ360万円の補助金  
H12年 介護保険制度開始。通所介護所として指定

H15 年 支援制度開始、障がい者への支援制度開始の報酬が適用となり、知的障害の場合は自己負担

「富山型デイサービス推進特区」を申請（10月）

#### (4) 効果

高齢者にとって、子供と触れ合うことで、自分の役割を見つけ意欲が高まり、日常生活が前向きになり会話やコミュニケーションが活性化します。また障がい者にとっても、居場所が出来ることで自分の役割を見つけることができ自立につながっていきます。子供たちにとっては、お年寄りや障がい者、他人への思いやりや優しさを身に着ける効果があり、地域にとっては、様々な相談に応じられる福祉拠点になります。

富山型デイサービス事業所においては、行政からの運営面での助成はなく、それぞれのサービス提供の報酬で運営をされています。

支援策を形成していく中で事業者間の連携について、富山型デイサービスの事業所で「富山ケアネットワーク」を立ち上げて、起業者間の情報交換やセミナーを実施して、行政に対する支援要請などの活動をされています。

#### (5) 考察

施設「このゆびと一まれ」を視察して、障害者や高齢者、普通にお年寄りのおばあちゃん、おじいちゃんが部屋で寝ている家庭の風景で、子どもたちは怖がることなく、高齢者や障害者と自然に関わっている関係にとっても感動いたしました。核家族化が進むこれからの子どもの教育には必要なことと改めて感じました。「このゆびと一まれ」の創設者からは、この取り組みが各自治体の公民館や地域で出来ることがもっとも費用が掛からず必要なことであると話されていました。

篠山市においても特区認定によって可能となる横の繋がりでの共生型支援の取り組みを進めていくことが重要と感じました。



## 2、コンパクトシティと公共交通を活用した居住推進事業

### (1) 目的

路面電車を軸とした、コンパクトシティ戦略で有名な富山市の現状を見たいと考え視察に行きました。

### (2) 概要

富山市の人口は41万人、県の4割。面積は1241km<sup>2</sup>、県の3割を占めます。車の保有率は全国2位と高く、公共交通の衰退を招く事態となりました。車の増加によるガスの排出により、CO2排出量の増大も課題となりました。富山市は、立山の扇状地のため、地形は平らで郊外に家建てやすい地形となっています。また市民の持ち家志向が強く、結果として市街地の拡大と低密度化を招きました。平成11年に現森市長が誕生し、これまでの拡大型まちづくりから、集約型都市の議論が始まり、実現に向けた交通体系がまとめられました。平成17年市町村合併後、富山型コンパクトシティの推進されていきます。



コンパクトなまちづくりを実現する施策の3本柱として

- ①公共交通活性化⇒路面電車の整備（H19年以降利用者増）
- ②公共交通沿線の居住推進⇒駅・停留所から500m以内に集積させるため補助金制度整備
- ③中心市街地の活性化⇒郊外の超大型SCの禁止。

を掲げました。施策は順調に進み、2018年で、約28%から37・2%と居住推進が進んでおり、2025年推計で42%を目標とされています。

富山市の人口動態は、H28年一自然減1406人、社会増202人となっています。中心市街地では、児童が183人増加しています。衰退していた中心市街地の歩行者が増加し、空き店舗も減少しました。地価は5年連続で上昇しています。中心市街地は市域の0・4%ほどの面積ですが、税収の22・4%をも占めています。この税収増を活用し、各小学校区に地区センターを設ける等、周辺地域の市民要望に応えることで、居住推進施策の理解が得られているとのことでした。

### (3) 考察

篠山市でも、コンパクトシティの検討がなされましたが、周辺地域の衰退を招くとの声

もあり、今は小さな拠点作りに政策が写っています。富山市では、鉄軌道が残っていたことで助かったとの説明がありました。篠山市にも篠山線がありましたが今はありません。人口減少が続くなか、各地域を生かし、なおかつ全体の活性化が図れる効果的な施策をこれからも研究していかねばと考えています。

領 収 書

日付 2019年01月25日 012536121140

お名前 公派公明党 様

---

金額 ¥9,900-

---

但し ご宿泊代として

---

上記金額正に領収致しました。



富山エクセルホテル東急 〒930-0002 富山県富山市新富町1-2-3 TEL076-441-0109

担当者 荒井 謙吾

領 収 書

日付 2019年01月25日 012534190021

お名前 公派 公明党 様

---

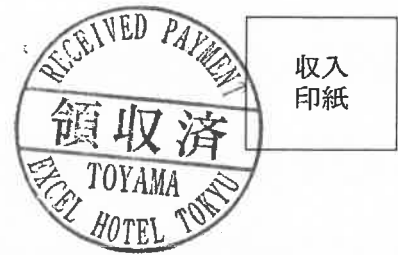
金額 ¥9,900-

---

但し ご宿泊代として

---

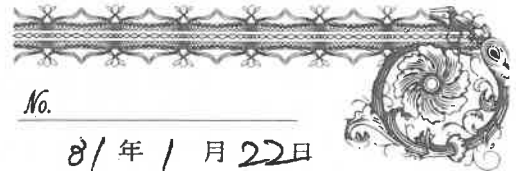
上記金額正に領収致しました。



富山エクセルホテル東急 〒930-0002 富山県富山市新富町1-2-3 TEL076-441-0109

担当者 野口 亜希

領 収 証



公明党 篠山市議会 様

No. 8/年1月22日

¥ 6,480

収 入  
印 紙

但し  
上記の金額正に領収いたしました

現金 \_\_\_\_\_

小切手 \_\_\_\_\_

振 込 \_\_\_\_\_

摘 要 \_\_\_\_\_

創業安政貳年 江草子司

株式会社 清 明 済

〒669-2331

兵庫県篠山市 階町

TEL 079-552-0749

FAX 079-552-3367

<b>領 収 書</b>		様
Receipt		
領収年月日	2019-11-5	
金額	¥44,440 (消費税等込み)	
上記金額確かに領収いたしました		
購入商品	JR乗車券類 JR tickets	
(20422 16枚)		
西日本旅客鉄道株式会社	印紙税申告納 付につき大淀 税務署承認済	
篠山口駅		
篠山口駅F発行		
	30423-01	

対象外経費は、篠山口～大阪駅 及び  
 金沢駅～富山駅 までの  
 4等席料金を除く39,160円を充当。